

2015年度（2016年3月期）  
第1四半期 決算説明会

---

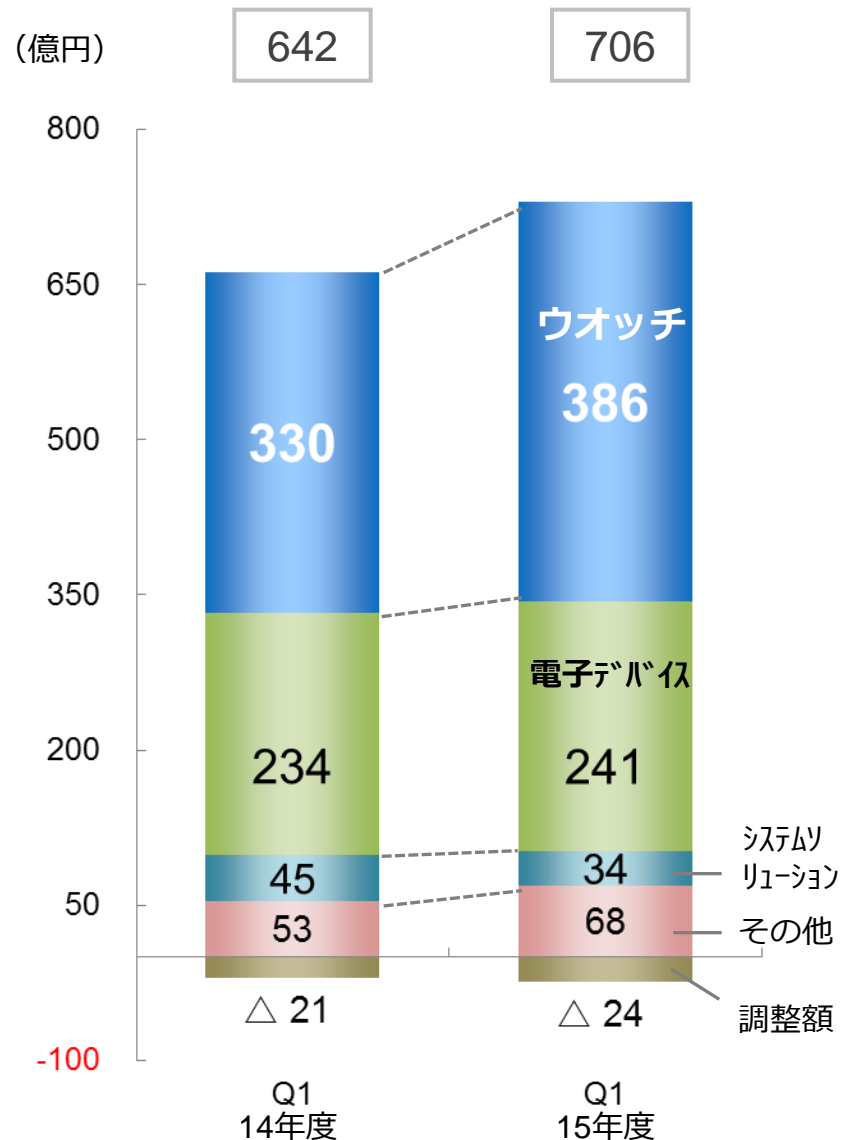
2015年8月12日

1. 決算の概況
2. 2015年度の見通し

# 1. 決算の概況

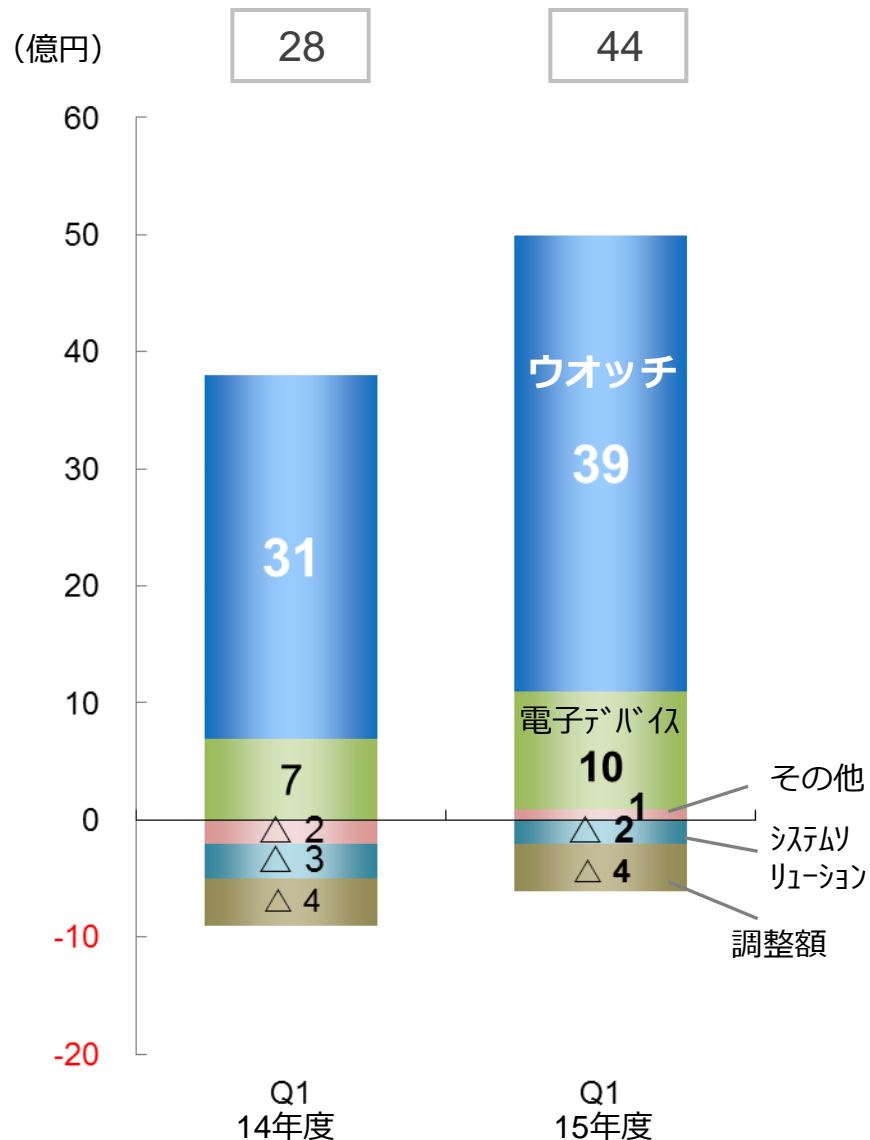
(億円)	14年度 Q1	15年度 Q1	増減			
			増減額	増減比		
売上高	642	706	+64	+10.0%	<b>売上高： 対前年 +64</b> 為替による影響 約+55	
売上総利益	226	261	+34	+15.4%		
営業利益	28	44	+16	+56.9%	<b>営業利益： 対前年 +16</b> 売上総利益増加 +34 経費増加 △18	
%	4.4%	6.3%	+1.9p	-		
経常利益	23	51	+27	+118.5%		
%	3.7%	7.3%	+3.6p	-		
税前利益	23	51	+27	+118.5%		
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9	37	+27	+297.2%	<b>経常利益： 対前年 +27</b> 営業利益増加 +16 支払利息減少 + 3 為替差損益改善 + 5 受取配当金増加 + 1	
%	1.5%	5.3%	+3.8p	-		
換算 レート	USD	102.1	121.4	+19.2	+18.9%	
	EUR	140.0	134.2	△5.8	△4.2%	

# 事業別売上高 - 第1四半期 (4月-6月) -



(億円)	売上高		
	14年度 Q1	15年度 Q1	増減
ウオッチ事業	330	386	+55
電子デバイス事業	234	241	+7
システムソリューション事業	45	34	△10
計	610	663	+52
その他	53	68	+14
調整額	△21	△24	△2
連結計	642	706	+64

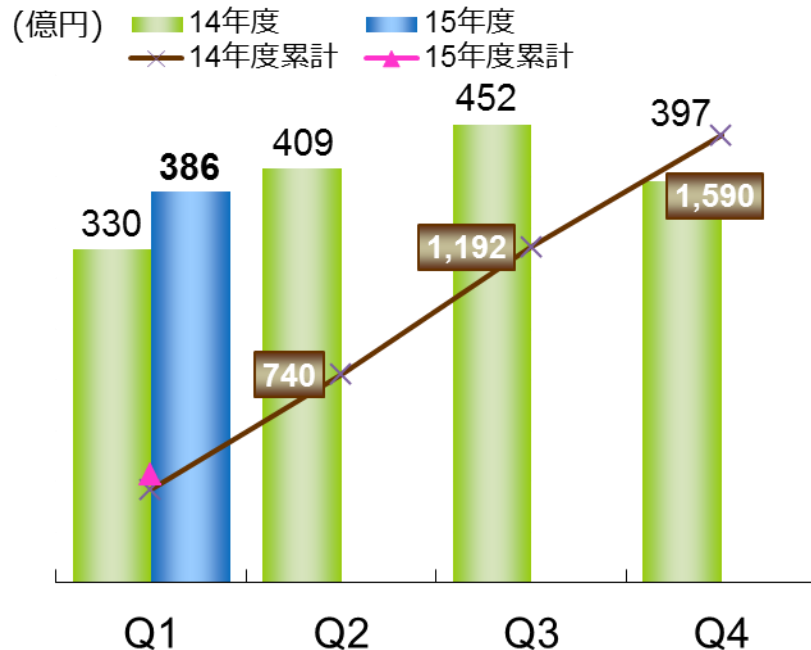
# 事業別営業利益 – 第1四半期（4月-6月） –



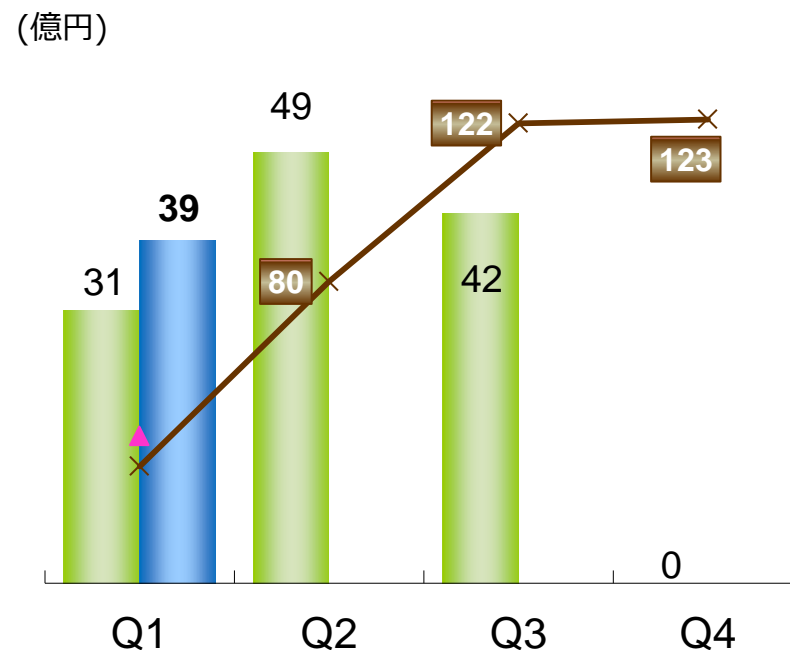
(億円)	営業利益		
	14年度 Q1	15年度 Q1	増減
ウオッチ事業	31	39	+8
電子デバイス事業	7	10	+2
システムリユニオン事業	△3	△2	+0
計	35	47	+11
その他	△2	+1	+4
調整額	△4	△4	+0
連結計	28	44	+16

# セグメント情報

## 売上高



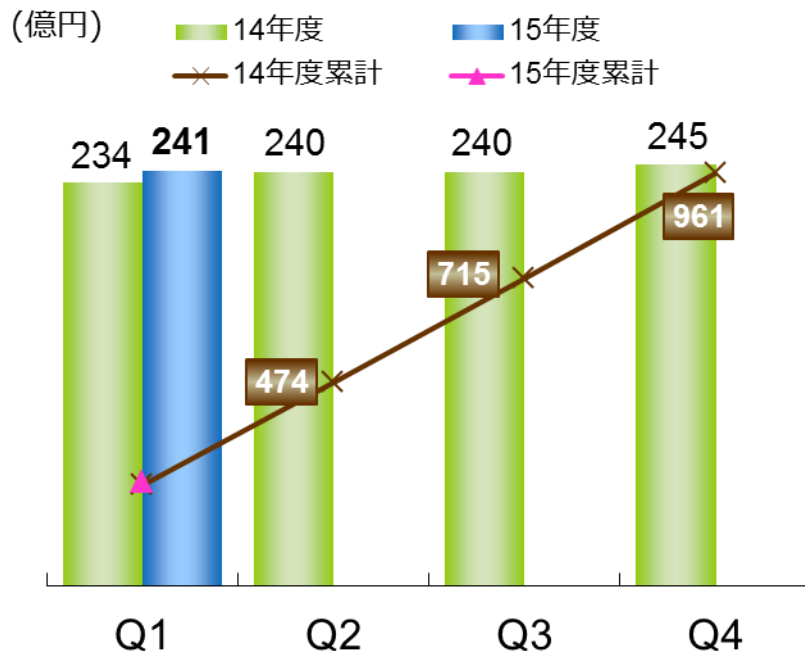
## 営業利益



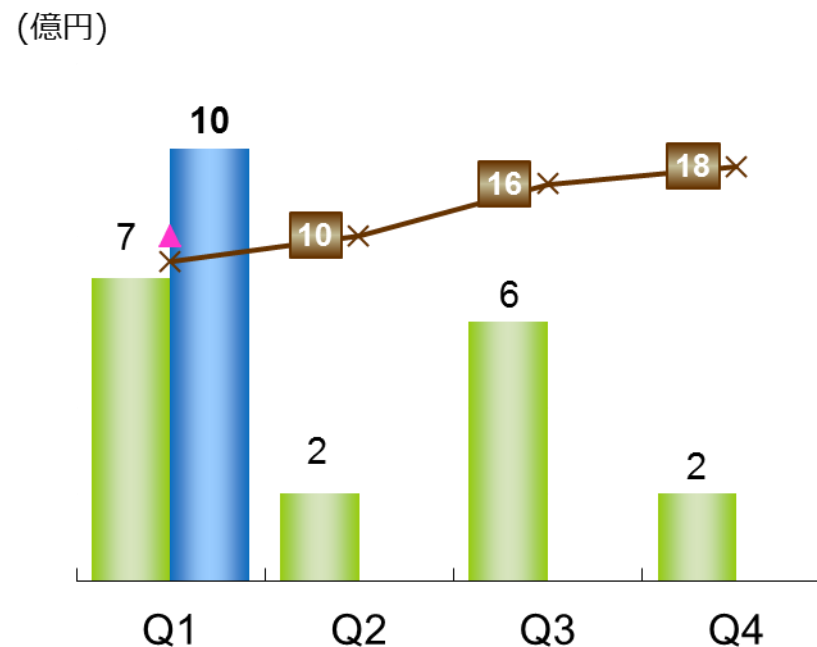
- 完成品ウォッチ (国内)** : 好調に売上を伸ばしている「アストロン」、「グランドセイコー」に加え、外国人観光客需要により、日本製メカニカルウォッチも売上が増加。また「プロスペックス」もダイバーズウォッチを中心に堅調に推移した。その他、レディースウォッチ「ルキア」や「ティセ」も順調に伸びている。
- 完成品ウォッチ (海外)** : 米国では客先の在庫調整により出遅れたが、欧州はフランス、ドイツなどで「アストロン」をはじめとして売上を伸ばした。
- ムーブメント** : 標準ムーブメントから付加価値ムーブメントへの流れは継続しているものの、全体的に需要が伸び悩んでいる。



## 売上高

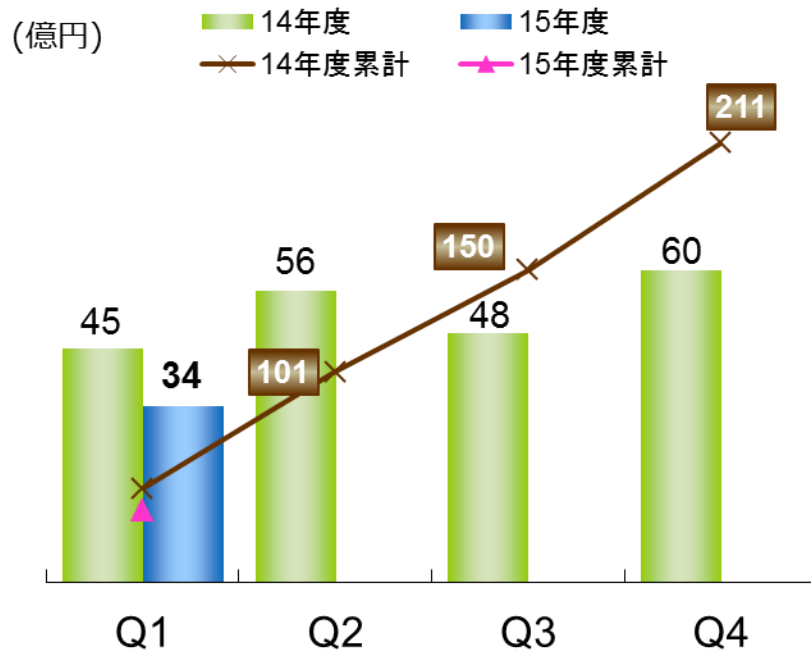


## 営業利益

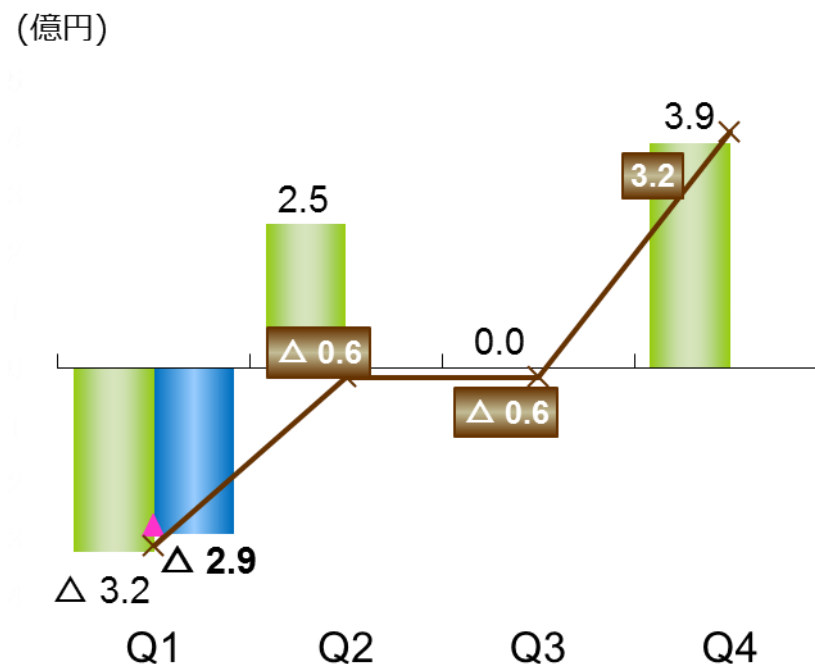


- ・電子デバイス : 半導体が車載向けやスマートフォン向け製品などを中心に堅調に推移し、水晶振動子ではGPS、監視カメラなど向けの売上が拡大した。
- ・メカトロニクス : 引続き厳しい状況ではあるが、収益は改善。
- ・その他 : サーマルプリンタやインクジェットプリントヘッドは回復傾向だが、放射線計測機器が伸び悩んだ。

## 売上高

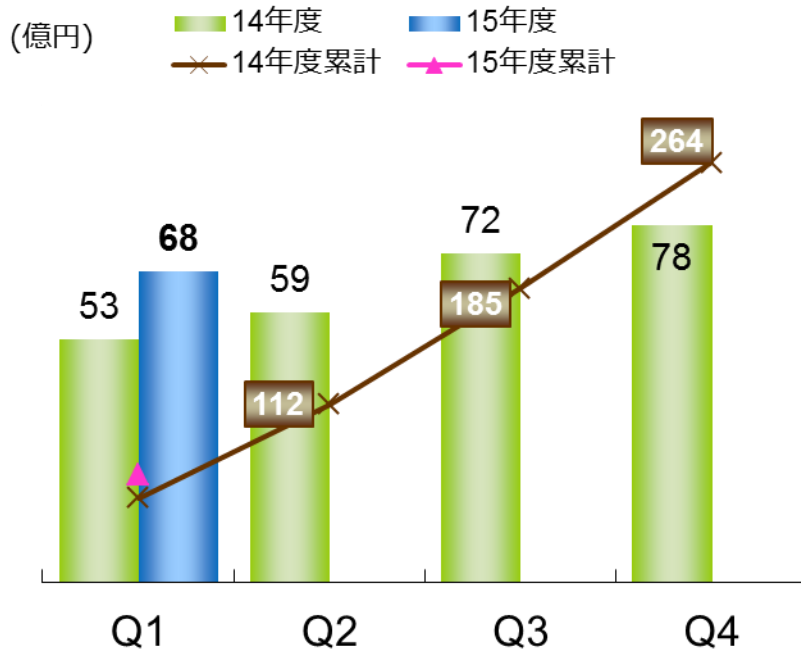


## 営業利益

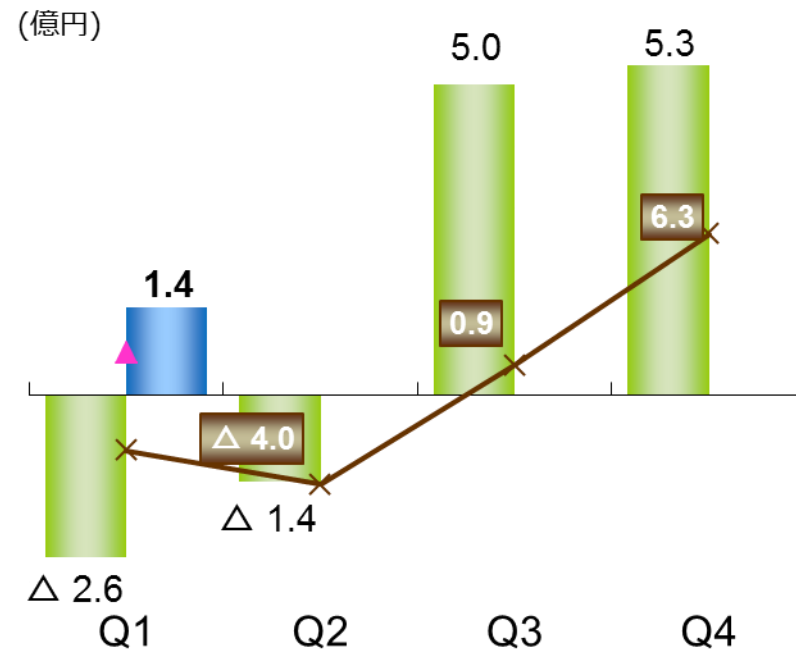


決済端末関連製品は順調に推移したものの、通信モジュールや外食業界向け製品などが伸び悩み、前年同期より売上を落とした。

## 売上高



## 営業利益

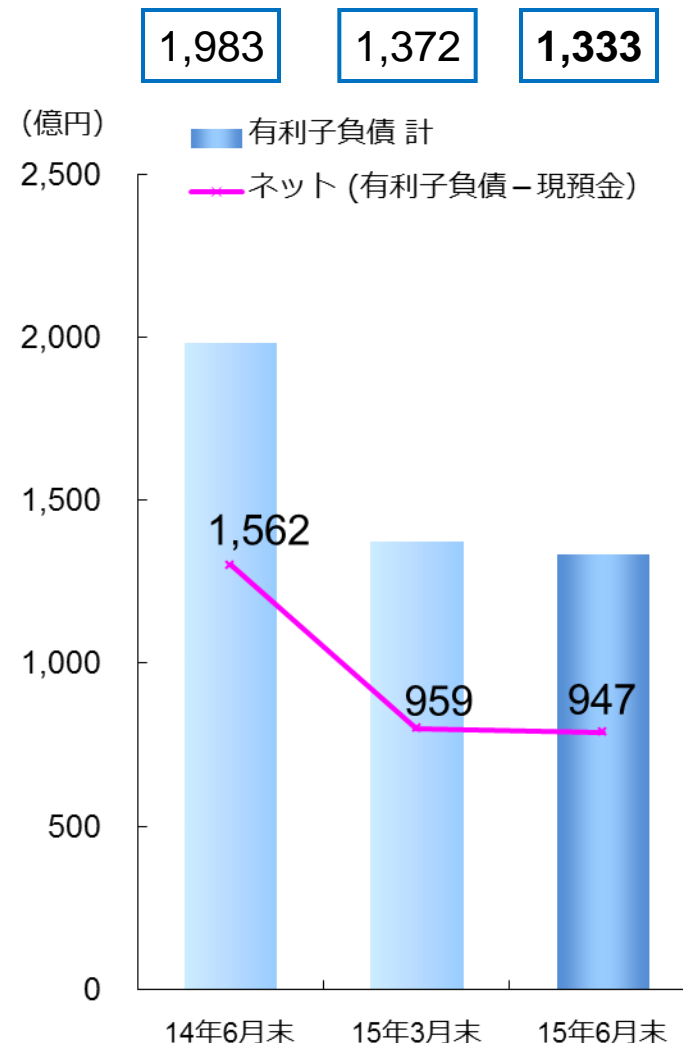


- ・ クロック : 円安で厳しい環境の下、国内で順調に売上を伸ばし前年同期に対し、増収増益となった。
- ・ その他 : 和光では前年同期に対し外国人観光客需要が大きく伸長。輸入ウォッチを中心に、「グランドセイコー」や「アストロン」が売上を伸ばし、和光の売上全体を牽引した。

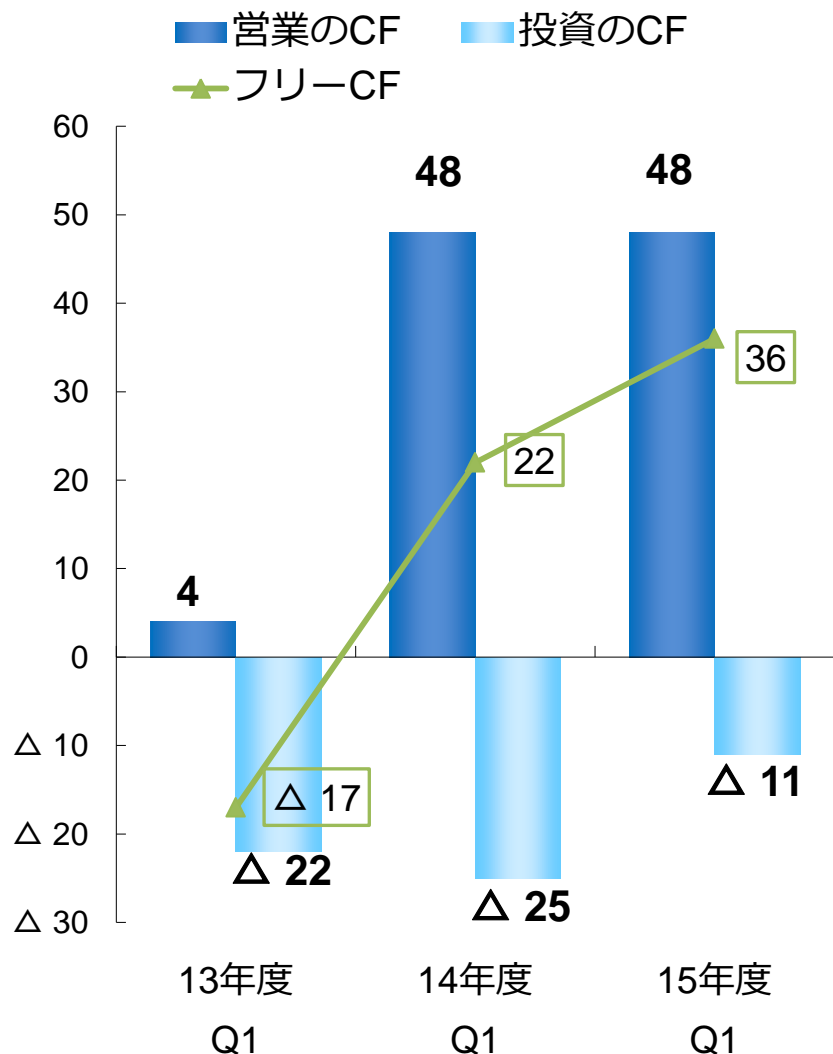
# 2015年6月末 貸借対照表

(億円)	2014年 6月末	2015年 3月末 (a)	2015年 6月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	618	629	694	+65
有利子負債	1,983	1,372	1,333	△39
純資産	692	925	960	+34
総資産	3,699	3,337	3,314	△22
自己資本比率	18.2%	27.1%	28.4%	+1.4p
ネットD/E レシオ	2.2	1.0	0.9	△0.0
従業員数	13,539	13,565	13,789	+224

## 有利子負債



(億円)



(億円)

	13年度 Q1	14年度 Q1	15年度 Q1
税引前当期純利益	31	23	<b>51</b>
減価償却費	29	26	<b>23</b>
その他	△55	△1	△26
<b>営業のキャッシュフロー</b>	<b>4</b>	<b>48</b>	<b>48</b>
有形固定資産の取得	△40	△16	△17
その他	18	△9	<b>5</b>
<b>投資のキャッシュフロー</b>	<b>△22</b>	<b>△25</b>	<b>△11</b>
借入金の借入・返済収支	51	△23	△39
その他	△6	△12	△23
<b>財務のキャッシュフロー</b>	<b>45</b>	<b>△36</b>	<b>△62</b>
換算差額等	△16	△0	<b>4</b>
現金及び現金同等物	438	411	<b>381</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>△17</b>	<b>22</b>	<b>36</b>

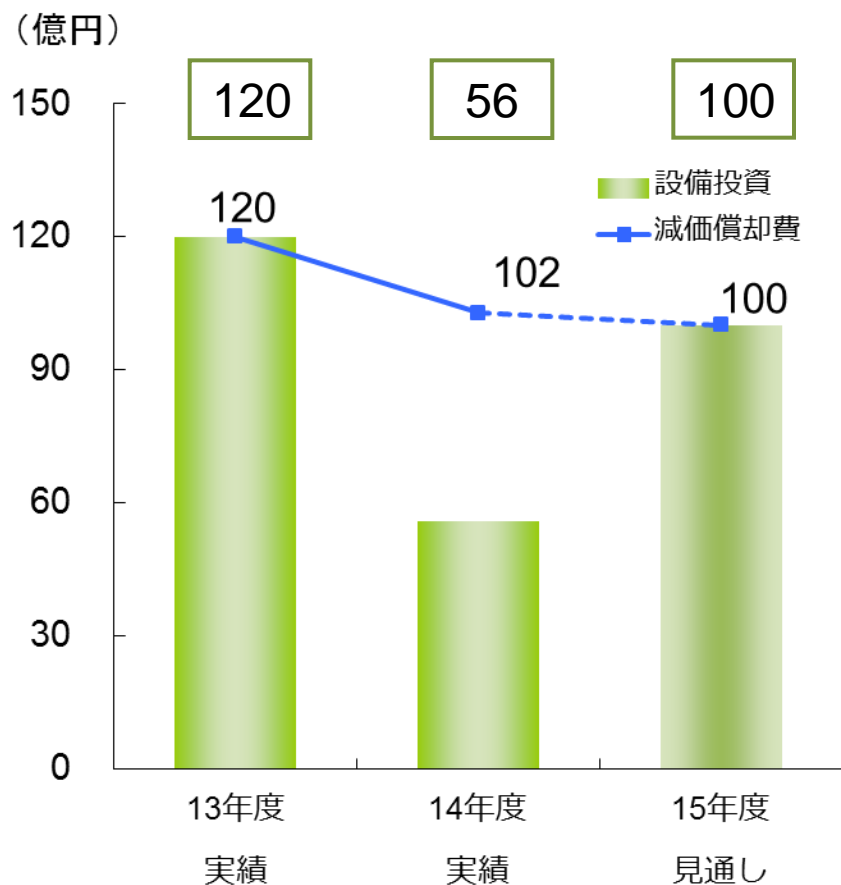
## 2. 2015年度の見通し

(億円)	14年度 実績	前回見通し (5/12)		今回見通し (8/11)		対前回増減	
		上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	2,934	1,400	3,200	1,500	3,200	+100	±0
営業利益	116	65	160	95	160	+30	±0
%	4.0%	4.6%	5.0%	6.3%	5.0%	+1.7p	±0.0p
経常利益	123	65	160	95	160	+30	±0
%	4.2%	4.6%	5.0%	6.3%	5.0%	+1.7p	±0.0p
親会社株主に帰属 する当期純利益	217	50	120	70	120	+20	±0
%	7.4%	3.6%	3.8%	4.7%	3.8%	+1.1p	±0.0p

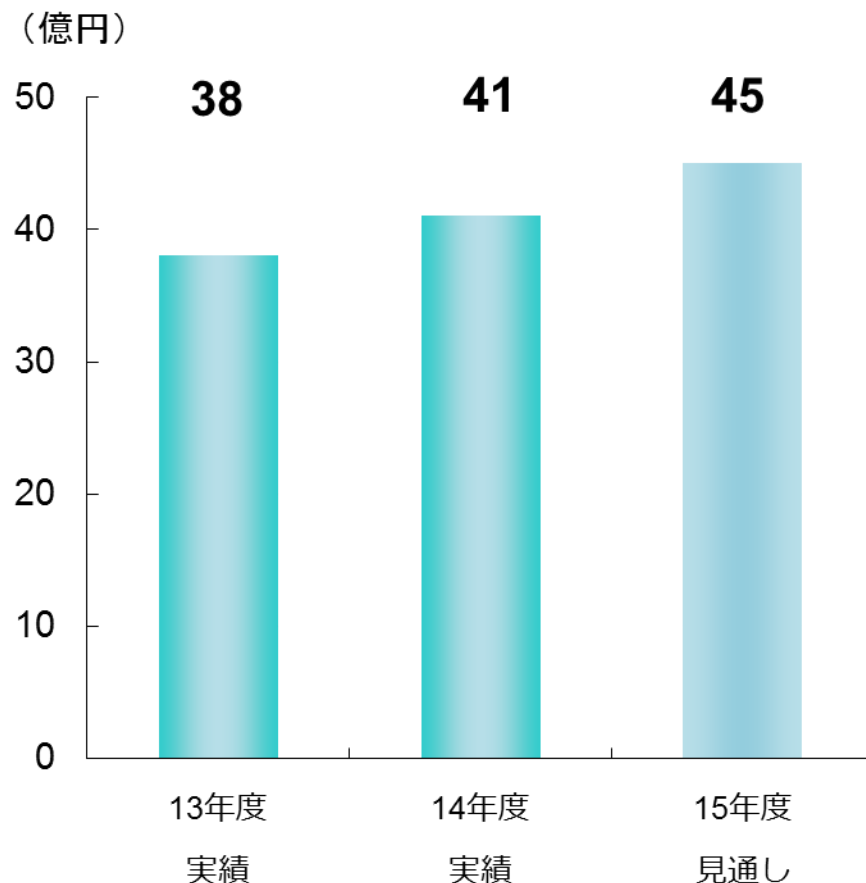
(億円)	売上高				営業利益			
	14年度 実績	15年度見通し		対前期 増減	14年度 (実績)	15年度見通し		対前期 増減
		前回 (5/12)	今回 (8/11)			前回 (5/12)	今回 (8/11)	
ウォッチ	1,590	1,700	1,750	+50	123	130	135	+5
電子デバイス	961	1,100	1,000	△100	18	50	40	△10
システムソリューション	211	240	240	±0	3	10	10	±0
計	2,763	3,040	2,990	△50	145	190	185	△5
その他	264	260	300	+40	6	5	10	+5
連結計	2,934	3,200	3,200	±0	116	160	160	±0



## 設備投資



## 研究開発費



\* 2013年度の設備投資にはタイ洪水被害からの復旧分を含む。  
 \* 2014年度は設備投資からオペレーティングリースに変更となった投資があったことや、2015年度に投資時期が変更になった投資があったこと等により減少。

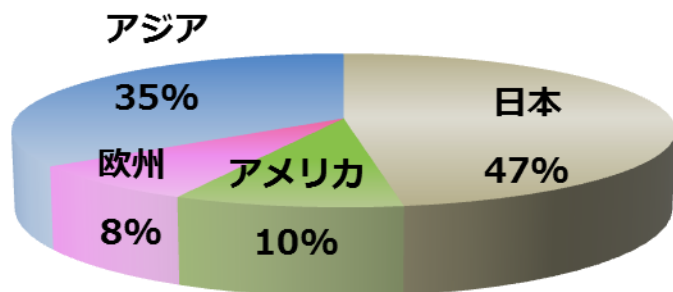
## 2015年度 見込期間為替感応度 (9か月分)

	USD	EUR
見込レート	110.0円	130.0円
売上高	約12億円	約1億円
営業利益	約1.8億円	約0.5億円

## 2015年度

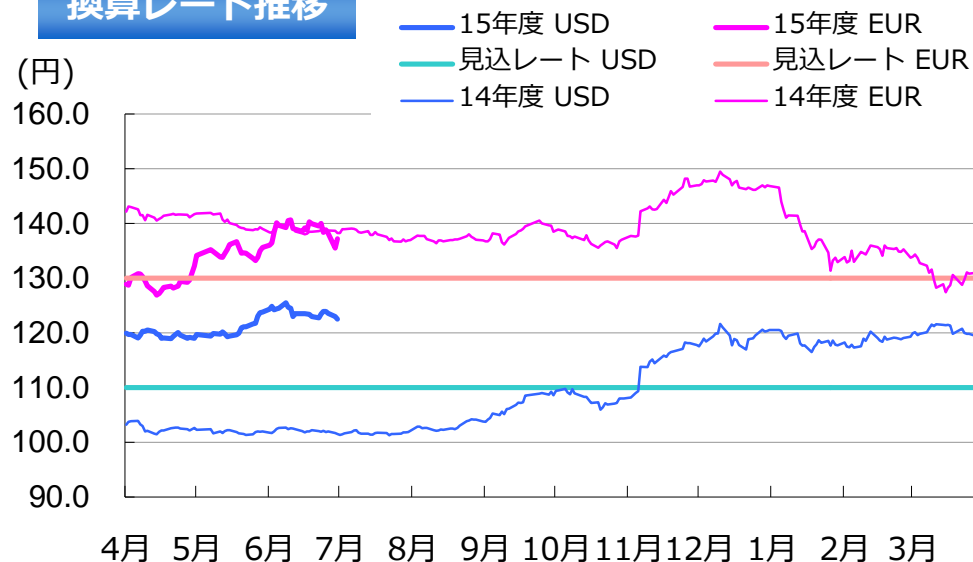
		Q1	見込レート
平均レート	USD	121.4	110.0
	EUR	134.2	130.0
決算日レート	USD	122.4	110.0
	EUR	137.2	130.0

## 地域別売上高比率



\* 2014年度実績値

## 換算レート推移



## ◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

End

---